



平成 18 年 11 月 21 日

各 位

会 社 名 メディアエクスチェンジ株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉 村 伸
(コード番号 3746 東証マザーズ)
問合せ先 取締役最高財務責任者 佐藤寿洋
(TEL . 03 - 4306 - 6543)

株式会社ライブドアとの業務及び資本提携見直しに関する経緯等のお知らせ

当社は、これまで、親会社である株式会社ライブドア（以下 LD 社という）との間で、業務及び資本提携の見直しについて協議を進めて参りましたが、協議開始後、相当期間が経過していることもあり、今迄の主要経緯並びに今後の対応方針につきまして、お知らせいたします。

1. 主 要 経 緯

当社は、平成 18 年 2 月に当社の親会社である LD 社に対して、当社株式保有比率の低減を含む要望事項を書面で提示し、同社から「今後とも友好的な関係を継続していくことを望んでいるが、資本提携については建設的な協議の上、見直しを行うことに同意する」旨の回答を得ました。以来、当社は、シナジーが期待できる事業会社の選定と交渉を速やかに実施すると同時に、これに関する親会社との協議を、鋭意行ってまいりました。

しかしながら、一連の証券取引法違反問題や上場廃止の事態、株式会社 USEN との業務提携に関する契約の締結及び中期経営計画の策定等の LD 社における事情と当社の株式環境の変化など諸般の事情により、現状におきましては、株主各位、投資家の皆様にご報告すべき親会社との合意点に達してはおりません。

このような現況ではございますが、資本提携の見直し協議を建設的に行う合意のもと、LD 社と当社は、当社の企業価値及び株主価値の向上が、両社にとって問題解決の最良の対応であるとの共通の認識を有しております。

2. 今 後 の 対 応 方 針

両社間のこの共通の認識のもと、当社は、以下の事項に全力を傾注し、推進してまいります。

- (1) LD 社の理解と協力をさらに深めつつ、引き続き、同社保有当社株式の引受先となるシナジー効果の得られる事業会社等の選定・交渉を行う。
- (2) 上記(1)に加え、LD 社保有当社株式持ち株比率の低減については、具体的かつ実現可能な手段を検討・実施するための協議を鋭意、継続する。
- (3) この協議継続中も、当社の強みであるネットワークやファシリティなどの現行サービスを基盤とし、より収益性の高い各種付加価値サービス領域の拡大と顧客基盤の拡大に努める。

株主様はじめ関係者の皆様方には、多大なご心配をお掛けいたしておりますが、上記対応方針に基づく各事項に全力で取り組み適時開示に努めて参りますので、引き続き関係者の皆様方のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上